

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年5月31日

事業所名 グローバルキッズ Act 清澄白河

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	・指導訓練室の広さに合わせた人数設定を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	3	2		・現在、保育士、言聴覚士を含む基準を満たす職員を配置している。引き続き、療育の質を高めるように務める。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	・利用者一人ひとりに合わせ、わかりやすいような視覚提示を使用している。 ・刺激の少ない環境設定を心掛けている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	・療育終了後、毎回の清掃を行っている（使用した机、椅子、壁、床、教材等。）。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		・目標設定を行い、PDCAサイクルで振り返るミーティングの充実を引き続き図っていく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	・実施可能であれば、改善を行っている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1		・ホームページに公表する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3		・今後取り入れていく予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・研修は随時行っている。	・職員1人ひとりの状態に合わせた研修計画を作成し、全社的に研修の充実を図っていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	・アセスメントを基に職員間で会議を行い、利用者の状態を共有している。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0	・施設で作成した書式を使用して、情報を統一化している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	・「発達支援」「家族支援」「地域支援」を療育方針として掲げている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・活動の様子を見ながら、適宜変更している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	・利用者の状況を見ながら、作成している。	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・数回の打合せを行い、当日に備えている。		

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	・打合せした内容を毎回記録しており、次回の療育に活かすようにしている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	・打合せした内容を毎回記録しており、次回の療育に活かすようにしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・利用者の様子を見ながら、適宜モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・電話でのモニタリングが多い為、児童発達支援管理責任者が利用者の様子を連絡している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	5	・該当なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	5	・該当なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・希望者には状況に応じた訪問、連携を行っている。	・今年度は依頼が無い。コロナで訪問ができないので、保護者に確認をした上で書類や動画を必要に応じて使用するようにする。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	・希望者には就学支援シートを作成し、保護者に配布している。	・保護者の要望に応じて就学支援シートを活用する等の連携や相互理解を図っていく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3		・保護者の要望を踏まえ、利用児童への支援の充実の一環としてセンターとの情報共有等の連携を図っていく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	・今年度にイベントで開催を行った。	・今後、検討していく。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	5	・過去に参加していたが、現在はコロナによる影響の為に実施されていない。	・開催があれば積極的に参加をしていく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・療育後、毎回保護者に対してのフィードバックを行っている。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	4		・ペアレントトレーニングという形では行っていないが、個別の相談から助言を行っている。家族支援プログラムとしては行っていない。今後、検討していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に実施している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	・療育後、毎回保護者に対してのフィードバックを行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		・今後、開催を検討していく。

	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	4	・個人情報に配慮しながら、1人ひとりに必要な連絡を行っている。	・定期的には行っていない為、保護者が必要な情報を集めて会報を発行していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		・自治会に加入しているので、今後の連携を検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		・マニュアルは作成しているが、保護者には周知されていない。また、毎月の訓練を実施しているので、実施内容を連絡、掲示を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	1		・今年度から利用者に応じて避難訓練を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	・アセスメント時や変更時に聞き取りを行っている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0	5		・該当なし。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	・事例集を作成し、職員で共有して再発防止に努めている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	・研修を実施している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	2	3	・契約時に説明を行っている。	・児童発達支援計画に記載がないので記載する。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○項目によっては未回答もあるため各回答数を合計しても回答者数と同じにならないことがあります。